

社会基盤整備・防災対策特別委員会 記 録

<p>1 会議の日時</p>	<p>開 会 午前 9 時 5 9 分 令和元年 5 月 1 0 日 閉 会 午前 1 0 時 5 5 分</p>	
<p>2 会議の場所</p>	<p>第 2 会議室</p>	
<p>3 出 席 者</p>	<p>委 員</p>	<p>委員長 猫 田 孝 副委員長 野 島 征 夫 委 員 藤 墳 守 川 上 哲 也 高 木 貴 行 長 屋 光 征 若 井 敦 子 森 治 久 藤 本 恵 司 所 竜 也</p>
	<p>執 行 部</p>	<p>別 紙 配 席 図 の と お り</p>
<p>4 事務局職員</p>	<p>係長 高口 好美 主事 野村 康太</p>	

5 会議に付した案件	
件名	審査の結果
1 令和元年度重点調査項目等について	原案通り
2 令和元年度所管事務事業の説明聴取について	
3 令和元年度委員会活動について	正副委員長に一任
4 その他	

6 議事録（要点筆記）

○猫田 孝委員長

ただいまから、社会基盤整備・防災対策特別委員会を開会する。

最初に、当委員会の運営についてであるが、委員会が所管する特定分野の中から、テーマを絞り込んだうえで、正副委員長の主導のもと、調査検討し、二年を目途に委員会として、一定の提言を行うことを目指すものである。委員の皆さまには、積極的な審議をお願いする。

まず、はじめに、当委員会の「本年度の重点調査項目」についてであるが、5月8日に開催された正副委員長会議において、お手元に配布してあるとおり「社会基盤整備・防災対策の推進に関すること」と決定されたので、ご承知おき願う。また、具体的な調査項目についてであるが、調査項目(案)のとおり、考えている。

まず初めに、本体工事が始まる県庁舎再整備や県有施設の老朽化対策といった管理、二つ目として、東海環状自動車道西回り区間やアクセス道路の整備といった産業を支える広域ネットワークインフラ整備、三つ目として、ハード・ソフトを含めた防災対策が求められる中で、社会基盤に焦点をあて、生活を支え防災に資するインフラ整備や強靱化について調査してはどうかと思うがいかがか。

(意見なし)

○猫田 孝委員長

意見等もないようなので、案のとおり調査していくことに決定する。

○猫田 孝委員長

それでは、調査項目にかかる所管事務事業について詳細の説明をお願いします。また、執行部の紹介もあわせてお願いします。なお、説明員の出席については、重点調査項目を担当する部局を中心に、出席いただいているので、あらかじめ、ご了承願う。質疑は説明終了後をお願いします。

(執行部 挨拶)

(執行部 説明)

○猫田 孝委員長

ただいまの説明に対し質疑はあるか。

○長屋 光征委員

新庁舎建設に先立って立体駐車場などの駐車場整備を行ったところであるが、現状、十分な台数は確保されているのか。

○渡辺県庁舎建設課長

工事期間中及び新庁舎建設後において不足することがないように、従来の駐車台数分を確保している。

○長屋 光征委員

現状、駐車場から庁舎への歩行の安全のため、警備員が道路横断等の際に誘導を行っているが、口調がきつい警備員もいるようである。要望であるが、その点に注意するよう指導願いたい。

岐阜大学の西側に、大型商業施設が進出するという話がある。もし、本決まりになった場合には、今

整備されている岐阜美山線だけでは交通量に対応しきれないのではないか。そのあたりの話は把握しているか。

○藤井道路建設課長

大型商業施設の進出については、現在情報をつかんでいない。もし、開発される場合には交通量の増加が予想されるため、必要であれば検討していきたい。

○長屋 光征委員

砂防堰堤は山の中にたくさんあるが、総数が4,197基でよいか。

○広瀬砂防課長

砂防堰堤は砂防設備の中に含まれ3,322基の内数である。合計の4,197基には急傾斜施設の擁壁や地滑り防止施設が含まれている。

○長屋 光征委員

砂防施設は老朽化しているように思うが、どのような状況か。

○広瀬砂防課長

砂防堰堤等の砂防設備については、建設後30年を経過した施設が約70%、50年を経過した施設が約36%ほどある。

○長屋 光征委員

後からで良いので、詳しく教えてほしい。

歩道の一部にインターロッキング方式が採用されているが、劣化が激しく、高齢者に優しくない。まちづくりの観点も踏まえて解消してほしい。

○藤井道路建設課長

県管理道路の歩道については、土木事務所の職員が歩いて点検を実施しているところであり、劣化の激しい箇所を確認しながら補修を進めていきたい。

○長屋 光征委員

要望であるが、補修時にはインターロッキングをアスファルトに変更してほしい。

○藤墳 守委員

東海環状自動車道の開通見通しが出ていない県境区間の状況はどうか。トンネルを早く整備していただきたい。また、トンネル掘削で大量の掘削土が発生するが、その土を他の工事に流用しないのか。

○藤井道路建設課長

開通の見通しが出ていない区間については、用地取得が困難な状況になっている。トンネルの残土については、養老インターから南側の盛り土区間に流用する計画となっている。

○藤墳 守委員

用地取得の見込みが立っていないということか。

○藤井道路建設課長

現在、国が任意交渉を進めており、さらに土地収用法に基づく事業認定も告示されたところである。

○猫田 孝委員長

今年度、国が東海環状の整備に活用する財政投融资は1,000億円でよいか。

○藤井道路建設課長

昨年度、財政投融资された額は全体で約1,000億円。今年度はこの区間に約297億円が投入されていると聞いている。

○猫田 孝委員長

(東海環状の西回り区間は) 全体で総事業費が約7,000億円で、約3,500億円が済み、残りが約3,500億円となる。財政投融资の額が約1,000億円で、今年度の予算が301.9億円。あと5年で完成すると聞いているがそれでよいか。

○藤井道路建設課長

その通りである。

○高木 貴行委員

岐阜県公共施設等総合管理基本方針の考え方について、全ての県有施設を予防保全していくのか。本来は配布資料の前段で、いらないものは壊す等の記載が前提として存在する中で、優先順位を決めて対応していくという記載をしないとイケない。現在の書き方だと一方的に、全部修繕するという印象を受けるが、実際どのような考え方か。

○高橋管財課長

岐阜県公共施設等総合管理基本方針の中には、県有施設の統合や廃止について検討すると記載しており、前提として必要な統廃合をしていく方針となっている。

○高木 貴行委員

今回新たに発足した第一回目の当委員会で、このような書き方だと、全施設を残すと考えてしまいかねないので、前提部分をもう少し丁寧に説明してほしい。

人口減少に伴い、将来的に高校の統廃合も進んでいくと思われるが、老朽化した校舎を全面的に直した方がいいが、使わなくなったという事態は避けるべきである。そのあたりはどういう考え方で改修を行っていくのか。

○柴田教育財務課長

そういった学校については、全面改修ではなく、生徒の安全安心を考えた必要最小限の改修を進めていく予定である。

○猫田 孝委員長

それでは、質疑も尽きたようなので、これをもって、所管事務事業の説明聴取を終了する。ただいま、調査項目とした事務事業について、説明いただいたが、今年度の調査項目として、先ほど3つの調査項目を取り上げ、また、先進事例の調査や現状把握のための視察なども取り入れて調査を行いたいと考えるが、何か意見はあるか。

(「異議なし」の声あり)

○猫田 孝委員長

意見等がないようなので、さよう進めさせていただく。詳細については正副委員長に一任願う。

次に、「本年度の委員会活動について」である。特別委員会の視察については、お手元に配布してある「委員会視察要領」「委員会視察に関する申し合わせ事項」のとおりである。視察先等について

は、必要性を十分に勘案し、委員をはじめ、関係者と調整のうえ、決定していきたいと思う。詳細については、正副委員長に一任願いたいと思うが、異議はあるか。

(「異議なし」の声あり)

○猫田 孝委員長

意見等がないようなので、さよう進めさせていただく。

以上で、本日の議題は終了したが、この際、何か意見はあるか。また、執行部の方、何かあるか。

(「意見等」)

○猫田 孝委員長

意見も尽きたようなので、これをもって委員会を閉会する。

社会基盤整備・防災対策特別委員会配席図

令和元年5月10日
午前10時から
第2会議室

		岩	川	小	加	森	三	海
--	--	---	---	---	---	---	---	---